



# オブジェクトストレージへのバックアップの管理

## Amazon FSx for NetApp ONTAP

NetApp  
August 18, 2025

# 目次

オブジェクトストレージへのバックアップの管理 .....	1
BlueXP ワークロード工場でのボリュームの手動バックアップの作成 .....	1
BlueXP ワークロード工場内のバックアップからボリュームをリストアする .....	1

# オブジェクトストレージへのバックアップの管理

## BlueXP ワークロード工場でのボリュームの手動バックアップの作成

BlueXP ワークロード工場で定期的にスケジュールされたバックアップ以外で、ボリュームの手動バックアップを作成します。

### タスクの内容

FSx for ONTAPのバックアップはボリューム単位で行われるため、各バックアップには特定のボリューム内のデータのみが含まれます。

FSx for ONTAPバックアップは増分バックアップです。つまり、最新のバックアップ後に変更されたボリューム上のデータのみが保存されます。これにより、バックアップの作成に必要な時間とバックアップに必要なストレージを最小限に抑えることができ、データを複製しないことでストレージコストを削減できます。

### 開始する前に

ボリュームのバックアップを作成するには、ボリュームとファイルシステムの両方に、バックアップSnapshotを格納するための十分なSSDストレージ容量が必要です。バックアップスナップショットの作成時に、スナップショットによって消費される追加のストレージ容量によって、ボリュームのSSDストレージ利用率が98%を超えることはありません。この場合、バックアップは失敗します。

### 手順

1. いずれかを使用してログインし"[コンソールエクスペリエンス](#)"ます。
2. [Storage]で、\*[Go to storage inventory]\*を選択します。
3. FSx for ONTAP タブで、ボリュームを含むファイルシステムの3ドットメニューを選択し、Manage \*を選択します。
4. ファイルシステムの概要で、\*[ボリューム]\*タブを選択します。
5. [ボリューム]\*タブで、バックアップするボリュームの3ドットメニューを選択します。
6. データ保護アクション、\*FSx for ONTAPバックアップ\*、\*手動バックアップ\*の順に選択します。
7. [Manual backup]ダイアログで、バックアップの名前を入力します。
8. [バックアップ]\*を選択します。

## BlueXP ワークロード工場内のバックアップからボリュームをリストアする

BlueXP ワークロード工場では、バックアップからAWSアカウント内の任意のFSx for ONTAPファイルシステムにボリュームをリストアできます。

リストアに十分な容量があるかどうかはワークロード工場で確認され、十分でない場合はSSDストレージ階層の容量を自動的に追加できます。

### 手順

1. いずれかを使用してログインし"コンソールエクスペリエンス"ます。
2. [Storage]で、\*[Go to storage inventory]\*を選択します。
3. FSx for ONTAP タブで、ボリュームを含むファイルシステムの3ドットメニューを選択し、Manage \*を選択します。
4. ファイルシステムの概要で、\*[ボリューム]\*タブを選択します。
5. [ボリューム]\*タブで、バックアップからリストアするボリュームの3ドットのメニューを選択します。
6. データ保護アクション、\* FSx for ONTAPバックアップ\*、\*バックアップからのリストア\*の順に選択します。
7. [Restore from a backup]ダイアログで、次の情報を指定します。
  - a. ターゲットファイルシステム:ドロップダウンメニューからターゲットファイルシステムを選択します。
  - b. \*ターゲットStorage VM \*：ドロップダウンメニューからターゲットStorage VMを選択します。
  - c. バックアップ名：ドロップダウンメニューからバックアップ名を選択します。
  - d. リストアされたボリューム名：リストアされたボリュームの名前を入力します。
8. リストア処理に必要なファイルシステムの容量を確認します。

ファイルシステムの容量が制限されると、次のような状況が発生する可能性があります。

- リストアでは、使用済み容量が指定したしきい値を超えることがあります。リストア処理を完了できません。SSDストレージ階層の容量を自動的に追加するには、ワークロードファクトリ用に検討["手動によるSSDストレージ階層の容量の追加"](#)または選択してください。
- リストアには追加のSSD容量が必要です。続行するには、ワークロードファクトリでSSDストレージ階層の容量を自動的に追加するを選択する必要があります。

9. [\* Restore] を選択します。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。